

取扱説明書



突っ張り耐震ポール

注文コード: 41503727/41503736
41503745/41503754

このたびは、突っ張り耐震ポールをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に本書を必ずお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。また、いつでも取り出せる場所に必ず保管してください。

1 安全にお使いいただくために

▲ 注意 この表示内容を見逃して誤った使い方をした場合は人的傷害や製品の破損、その他の物的損害へつながる可能性があります。

■ 組立時・ご使用上の注意

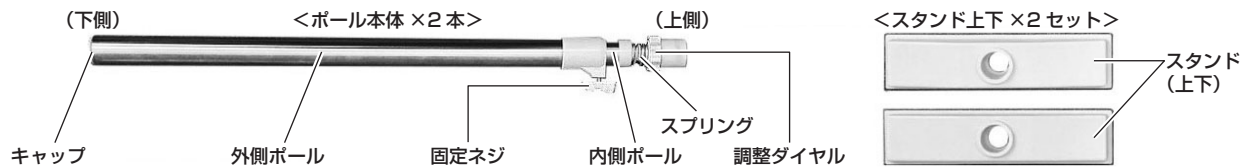
【はじめに】 誤った使用方法により人的傷害や製品の破損、その他の物的損害が生じた場合、一切の保証、責任を負いません。
また、本製品の分解や改造は、絶対に行わないでください。

▲ 注意

- 商品の組立は、記載している手順、方法通りに行ってください。誤った手順、方法で行うと、けがや破損のおそれがあります。
- 小さなお子様にも組立・設置・収納などをさせず、使用にあたっては必ず大人の方が常に管理できる状況でしてください。
- 本製品を本来の使用用途以外や、乱暴な取り扱い方をすると、けがや故障、破損につながるおそれがありますので絶対にしないでください。
- 本製品は屋内でご使用ください。また、火気や熱源の近くでの使用は避けてください。本体が変形するおそれがあります。
- 本製品は家具を完全に固定するものではなく、あくまで簡易転倒防止器具です。設置状態や震度などにより効果が薄れる場合があります。
- 取り付けた2、3日後、および地震後や定期的（月に1回程度）に設置状態を点検し、弱いときは調整を行ってください。
- 本製品はプラスチック製のため、大きい地震後や長期使用で劣化の際は、新品と交換することをおすすめします。
- 清掃するときは、湿らせた布で拭いてください。汚れが取れにくい場合は中性洗剤で拭いてから、湿らせた布で拭き取ってください。

2 各部の名称

取り付けの前に部品が全て揃ってあることを必ずご確認ください。



■ 仕様

注文コード	寸法: 幅 W × 奥行 D × 高さ H (mm)	本体重量 (kg)	材質	使用範囲 (mm)	最大耐圧強度
41503727	245 × 58 × 200 ~ 300	約 1.3	樹脂部: ABS パイプ部: ステンレス巻きスチール (SUS443/SECC+Q915)	200 ~ 300	200kg (2本使用時)
41503736	245 × 58 × 300 ~ 450	約 1.45		300 ~ 450	
41503745	245 × 58 × 450 ~ 650	約 1.74		450 ~ 650	
41503754	245 × 58 × 650 ~ 1100	約 2.1		650 ~ 1100	

※ 上記の仕様は、予告なしに変更することがあります。

※ 耐荷重は壁の材質や取り付け状態により減少することがあります。

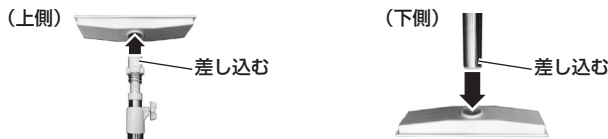
3 取り付け方法

取り付ける前に、取り付ける壁面がしっかりしているか確認してください。

■ 組立

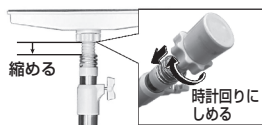
1. スタンド（上下）をポール本体に取り付ける

- スタンド（上下）はポール本体の上側、下側どちらでも取り付けることができます。



2. 調整ダイヤル（上側）を縮める

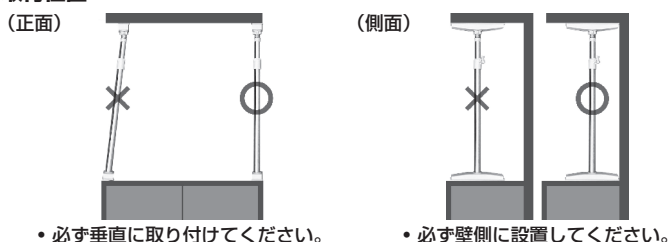
- 最初から調整ダイヤルが伸びている場合は、ダイヤルを時計回りに回してスプリングと同じ長さになるまで縮めてください。



■ 取り付け前に

- 完全なつり天井の場合は、効果が発揮できない場合があります。
- 強度が弱い天井、家具に取り付ける場合は、30cm程度の当て板を挟んで設置することをおすすめします。
- キャスター付の家具に使用される場合は必ずキャスターを固定してください。
- 幅の狭い家具で使用する時も、必ず左右に2本取り付けてください。
- 天井、家具、床など設置する場所により解圧強度は異なります。

▼ 取付位置



・必ず垂直に取り付けてください。

・必ず壁側に設置してください。

■ 取り付け方法

1. 取り付け位置を決める

- 天井の棧や芯材の部分に取り付け、弱い天井の場合は、当て板などで補強してください。
- 家具に取り付ける位置は、縁、四隅、天板などの強度がある部分に取り付けてください。

2. 天井に当たるまで高さを調整する

- 本製品を取付位置に置いた状態で、上部スタンドが天井に当たる位置まで内側ポールを引き伸ばしてください。

3. 内側ポールを天井いっぱい押し付け固定する

- 天井に押し付けながら固定ネジを時計回りにしめます。
- 固定ネジはいっぱいまでしめてください。内側ポールに穴が空き、固定されます。

4. 調整ダイヤルを回し確実に固定する

- 上部スタンドを押さえながら、調整ダイヤルをスプリングが縮む方向にしめます。
- 調整ダイヤルが「組立 手順2」の状態であることを確認してください。
- ダイヤル下のスプリングがいっぱいまで縮み、動かなくなるまで回します。

▲ 注意

- 取り付けたら左右にゆすり、外れたりずれたりしないか確認してください。動く場合は、「取り付け方法 手順2」からやり直し、調整ダイヤルと固定ネジをゆるめてください。
- 再度固定するときは、必ず内側パイプを回して固定位置を変えてください。同じ位置で固定すると、内側ボールの固定穴が拡大してガタツキの原因になったり、確実に固定できなくなったりする場合があります。

5. 正しく、確実に固定されたことを確認する

